

WUXI KOYO BEARING CO., LTD.

- 無錫光洋軸承有限公司，WKB -

1. 会社概要

社名 無錫光洋軸承有限公司
 所在地 中国江蘇省無錫市蠡園經濟開發区
 創立 1995年9月
 資本金 165百萬元
 従業員 890人
 業種 ベアリング製造・販売

2. 地域の紹介

当社の所在地は、江蘇省無錫市の西端にある經濟開發区です。無錫市は上海の西120km、南京の東南180kmの位置にあり、市内を京杭大運河(北京 - 杭州)が通る町です。人口は200万、南は太湖にのぞみ、肥沃な土地と豊富な物産に恵まれているため、蘇州とともに“魚米之郷”と呼ばれております。昔は錫山より錫が産出されたので“有錫”と呼ばれていましたが争って掘られたため錫がなくなり、漢の頃からは“無錫”となったようです。一説によれば、その昔、錫をめぐる紛争が絶えず、そのことに頭を痛めた地元の人たちが“無錫”と名乗ることによって、争いもとの錫が掘り尽くされたことを世に広め、街が平和になることを願ったのだといわれています。

無錫は太湖をはじめ多くの名所旧跡に恵まれています。鼋頭渚公園、梅園、錫恵公園などの名園では四季の花も美しく、また三国城や欧州城唐城などのテーマパークも開園し、観光客も年々増えてきております。



錫恵公園



京杭大運河

現在、この無錫では日本人会員登録者は170名(73社)で、長期出張者や登録外企業を含めると300名程度の日本人が在住しています。またどちらかといえば関西の企業の方が多いようです。生活の実感として今の中国は高度經濟成長の中にあり、この2~3年でどんどん生活レベルが上がリ、環境も良くなって住みやすくなったと聞かされます。実際、日本料理店も増え、カラオケ店もあり生活面での問題は少ないと感じます。また、車で1時間ほど行けばゴルフもできます。ただ、上海・大連などの都市と比べると外国人用の学校がなく家族と一緒に赴任は難しいようです。あと、治安面は普通に生活する限りトラブルはないようですが、医療面、特に歯科では削ることに怖さを感じて、日本に帰国して治療をしている人が多いようです。



都市風景

3. 会社の紹介

当社は、光洋精工株式会社と無錫市の国有工作機メーカー、無錫機床股份有限公司との合併会社です。生産品種は、ミニチュア・小径軸受で外径8mmから22mmまでのサイズのものを約600万個/月生産しており、日本への輸出がメインです。生産は、研磨工程以降となっております。現在、中国国内での引合いも増えてきておりますが、日本への対応で精一杯の状態のため、中国国内販売への対応が十分でなく今後の課題と考えております。

中国における軸受業界は、中小企業が多く約1000社以上あると聞きますが、実際にどれだけあるかははっきりしません。ただ、無錫市近辺でもざっと10社はあります。1999年11月の上海ベアリング展では、多数の出展があり、中国での需要規模の大きさが感じられました。



事務所

4. 今後の展望

当社の親会社は人材面・技術面等いろいろ支援してくれており、今後、現地調達拡大推進や新しい研磨機の開発などでも協力して進め、軸受精度と性能の向上および原価改善を図っていきたいと考えます。中国の設備、材料、人材でやり立てることができるようにするのが目標です。

さらに無錫には、光洋グループでは当社のほか、光洋機械工業と光洋電子工業が進出しており、前者の関係では工作機械の生産会社と工作機械の設計・開発会社、後者の関係では電子部品会社として独自資本会社と合併会社の2社があります。無錫に最初に進出した電子部品製造会社(CKE)は、すでに10年が経っています。これらの企業間の関係も大切にして、無錫市にそして中国に貢献できる企業グループを作っていきたいと考えます。

(無錫光洋軸承有限公司 安齋浩之)